

健康経営・健康人性

令和3年4月

人性塾主催 養性ビジネス
株式会社ディー・ピー・エス
代表 齋 藤 忠



1. 何故学問するのか？

人間として最も尊い【良心】・良知・真理を
学ぶためにする

本当の自分を創るためにする
本当の自分を知ること
本当の自分を創れる

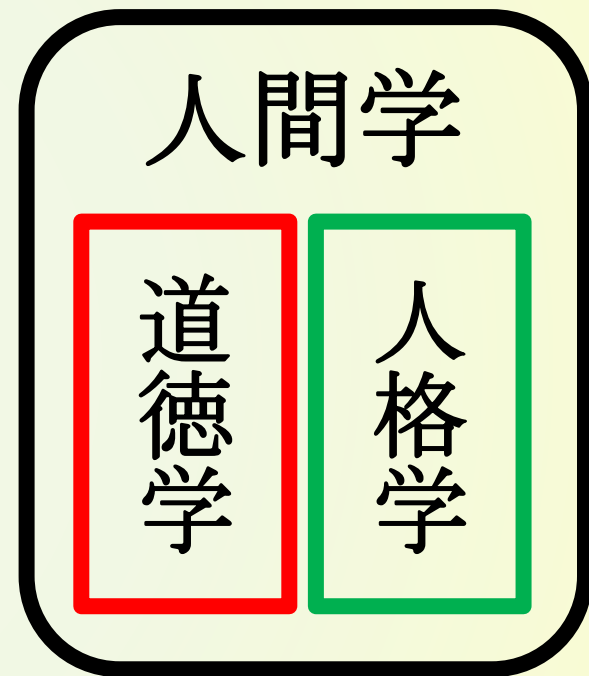
本当の自分を創れる人であって
初めて人を知ることができ
【人を創る】ことができる



2. 学問に職業学と人間学あり

人間の本質的要素が【徳性】
付属的要素の 技能・才能・才
知を養う学問が職業学

職業学を養うのが【人間学】
人間学とは道德学＋【人格学】
学問の【本義】は 徳性を養い
錬磨することにある



3. 道徳

$$\boxed{\text{道}} + \boxed{\text{徳}} = \boxed{\text{道徳}}$$

これなくして【**人性**】も経営も**家庭**も存在できない
本質的なものを【**道**】といい
これが人間に発して【**徳**】となり
結んで【**道徳**】という



4. 社会生活にルールあり

社会には 人間としての基礎的条件・
法則・ルール＝【**道徳**】が存在し

それらが養われて初めて

人間生活は発展し向上していく

貧困層予備軍に

道徳の心得え無しという特徴あり



5. 教育の幹

枝葉に花開かせ
果実を実らす為に
養分補給する役割を担うのが
根であり幹

教育を木々に置き換えれば
才知才能は【**枝葉**】
徳性および道徳性が【**根幹**】



6. 徳性(1)

徳性とは

人を愛する・人を助ける・人に報いる・
人に尽くす・真面目である・素直である・
よく努力する といった人間の【本質】をいう



6. 徳性(2)

★家庭教育(主に躾け)を置き去りにすると
人を愛さなくなる・人を助けなくなる・
報わなくなる・正直でなくなる・
不真面目になり 人間が人間でなくなり
単に我欲強欲を貪る
【社会的動物】として存在する



7. 自分(1)

独【**自**】に存在しながらも

全体の一部【**分**】として存在し

独自性を錬磨して 全体に**貢献**して

初めて認められる存在を【**自分**】という



7. 自分(2)

社会に貢献していますか？

職場・会社に貢献していますか？

家庭経営に貢献していますか？



8. 幼児と両親祖父母

物心ついた頃から 母親を愛の対象とし
父親を敬いの対象とする
同時に【自分】も愛され敬われることを欲する

子供を諫めたり叱ることはかまわないが
むやみに私情で蔑むことは
子供の存在を否定することになる
これを【不敬】という



9. 幼児の精神

幼児は環境に敏感で
一家の中で【自分】の占める立場を よく悟る

両親の怒りは 子供の精神に衝撃を与え
異常な感情の表現は 接した子供に強い
【刻印】を記し その後遺症が後年に現れ
様々な病や【不祥事】を引き起こす



10. 幼児教育(1)

幼児は最も【父親】に注目することを欲し

常に父親の賛同を得ようとする

父親が我が子に 満足を感じている限り

子は自己に満足し

【父親】を敬いの対象とする



10. 幼児教育(2)

【**母親**】が純(**純真**純情)であればあるほど
クリエイティブ 即ち**創造育成**を本領とし
本能的に陰徳【**愛情・優情**】を備え
我が子の育成(人性・運命)に大きく貢献する
激情的になると残忍になり 手に負えなくなる



11. 人性を滅ぼす六つの大罪(1)

1. わずかな自利のために
人の意見に耳を貸さない
2. 【己】の無学を棚に上げて
教養ある賢人を憎む
3. 【己】に勝る人を嫌い
ご機嫌取りの取り卷きを喜ぶ



11. 人性を滅ぼす六つの大罪(2)

4. 遊び暮らしの生活にあこがれ
仕事に身を入れない
5. 出世することだけを考え
権力ある人ばかりに近づき
わずかなおこぼれを 追いかける
6. 日々の悪習慣を恥じない
習慣は第二【徳性】の表現



12. 精神科医の成功分析

1. 富裕層（成功者）には **行動特性**があり
大きな特長は 行動に一貫性があり
方針があり **【信念】**がある
故に常に判断がぶれない
2. **頭**のダメ人間の部屋は 散らばっている
頭の中と部屋の散らばり具合は一緒に
必要不必要の**【判断力】**が鈍いことが原因



13. 古典古書は 自己創造改造の学問

歴史の風雪に耐え 現代に語り継がれる
人類の知的財産が【論語・小学・大学等】

論語は 道德の開祖・孔子(紀元前552～479年)
が説いた 健康経営・健康人性学問

小学は 処世の法則学・温故知新の
【人物創造】の学問



14. 小学(1)

体得・習得を重んじる【**知行合一？**】の学問

日常生活で【**清掃・整理・整頓**】や
節度ある行動や 人との応対術を
見様見真似で見習う学問

幼い頃から習い続けることにより 習慣化し
成長するに従って **知も心も**成長していく



14. 小学(2)

習は羽＋白(胴体) 雛が巣(家庭)の中で
親鳥の飛ぶ姿を真似て訓練している様が【習】

真似ることに慣れてくると【習慣化】し
違和感なく飛べるようになる

子を見ると親が分かり
親を見ると子が分かる
といわれる所以



14. 小学(3)

人を教うるに 清掃・応対・進退を学び
【親】を愛し 【長】を敬い 師を尊び
友に親しむ道を以てす

これは 皆

修身→【齐家？】→治国→平天下のためなり



15. 健康経営(人性)を阻害する 四つの重患(1)

偽

人間の為すことは 偽(人+為)りが多く
偽り・偽装・偽善・虚偽の戒め

私

大量に実った稲穂をム(自分)にねじ曲げ
収穫物を私物化する意

公共心や【公德心】を失い
私利私欲に走ることの戒め



15. 健康経営(人性)を阻害する 四つの重患(2)

放

出鱈目の意 出鱈目な事を行う戒め

奢

驕奢・自惚れ・傲慢の戒め

人性(経営)の大病は

【傲慢】の傲の一字にあり



16. 健康人性の四徳

1. 人と競争せず 【己】と競争する
2. 苦しくとも 愚痴や恨み言をいわない
3. 身の回りを良く尊敬し
【己】の恥じ入ることを知る
4. 飲食を征し 適度な運動を心掛ける



ご静聴有り難うございました



人性塾主催 養生ビジネス
株式会社ディー・ピー・エス
代表 齋藤 忠

